

◆墜落の危険性

普天間飛行場所属機による事故 **123回** (平均で約2.7回/年)

(件数は本土復帰から平成29年2月末までを集計)

最近の主な普天間飛行場所属機の事故 (平成29年2月末現在)

平成26年6月17日	MV-22オスプレイが通常飛行訓練の海上飛行中にスタティックウィック(ペンサイズの薄い金属製の小さな部品)が落下
9月18日	AH-1Wヘリが通常飛行訓練中に、ウイングボルト(ちょうねじ)とモーリングリングが機体から落下
平成27年1月15日	AH-1Wヘリが出砂島訓練空域の海域南西付近で訓練飛行中に、ミサイルランチャーなどを含む計208キロの装備品が落下
3月12日	MV-22オスプレイが中部訓練区域で消火活動をしていたところ、平らのアルミ製の部品が落下
平成28年1月29日	KC-130空中給油機が飛行中に除氷ブーツであるゴム片を遺失
12月13日	MV-22オスプレイが夜間の空中給油訓練中にブレードを損傷。飛行が不安定となり、浅瀬に不時着水した。着水時の衝撃により機体にかなりの損傷が生じた。
12月13日	同日に不時着水したオスプレイからの救難連絡を受け空中監視任務を終えて普天間基地に帰還したが、着陸装置(脚部)を機体から出すことができず、衝撃を吸収するパッドの上に着陸した。
平成29年1月20日	AH-1Zヘリが飛行中、警告ランプがついたため、伊計島の農道に不時着

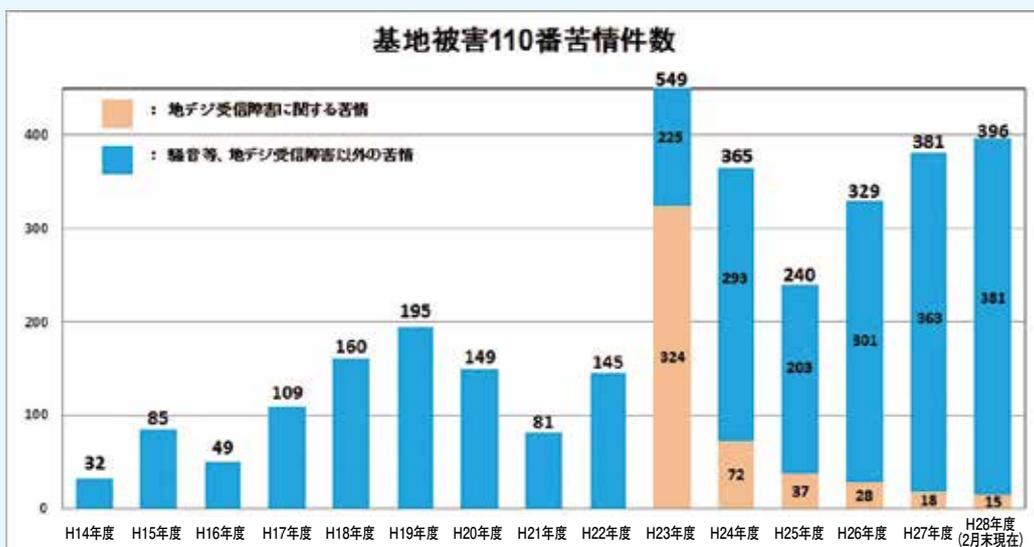
◆地デジ受信障害

地デジ受信障害に関する苦情

平成23年度	平成24年度	平成25年度
324件	72件	37件
平成26年度	平成27年度	平成28年度 (2月末現在)
28件	18件	15件

米軍機が住宅地上空を通過すると、地デジ受信障害が発生するといった声が市内全域から寄せられており、その対策を国に求めたところ、沖縄防衛局の調査により認定された野嵩・普天間・新城の一部区域については、平成23年度に防衛省の補助金を活用し市が対策を実施しました。しかしながら、対策が行われた区域以外にも同様な声が寄せられていることから、引き続き、米軍機が起因する地デジ受信障害の解消に向け取り組んでおります。

基地被害110番



宜野湾市では昼夜を問わず基地から発生する騒音等の苦情について、職員の勤務時間外にも対応できるよう、留守番電話専用回線である「基地被害110番」を設置しております。市へ寄せられた声は市長まで目を通し、翌日までに米軍と沖縄防衛局へ届け、市民生活へ配慮するよう申し入れております。また、特に騒音が激化した際などは適宜、米軍および沖縄防衛局等へ抗議・要請を行っております。

宜野湾市では、夜間・休日の騒音苦情窓口として基地被害110番を設置し、留守番電話にて24時間苦情を受け付けております。

宜野湾市 基地被害110番 ☎ **893-4400**